



畑中喜右衛門慰霊祭

～9月7日～

由利町吉沢地区の治水の恩人として現在に語り継がれている畑中喜右衛門の慰霊祭が、命日である9月7日に行われました。

平成3年に畑中喜右衛門の碑の側に建立された碑には、下記のように記されています。



処刑の地に建立され336年

畑中喜右衛門碑

江戸時代明暦の頃（六五五年頃）吉沢部落の人家は、わずか一二戸にすぎなかつた。当時は洪水の度毎に川岸が侵食されて田をせばめ、家屋敷等も危険にさらされていた。

時の滝沢郷の名主畑中喜右衛門（前郷）は、河川の改修を度々代官所に訴えた。しかし代官奥山源兵衛は、これを強訴として憎んで捕らえ、農民煽動の罪をきせ、万治元年（六五八年）九月七日打ち首の刑に処した。処刑は、喜右衛門の希望により、川の見えるこの地「芋ヶ台」で行われた。死に際して喜右衛門は、「我亡き後も、靈魂はここにどまり、必ず川の流れを変えるであろう」と予言したという。

その後、豪雨襲来、濁流氾濫し、ごうごうと大地を裂くがごとき音が音がどろろき、ついに川の流れを変え、現在のようになつたと伝えられている。

それからは、吉沢の田地は広く美田となり今日の繁栄をみるようになった。貞享三年（六八六年）吉沢部落民は喜右衛門の殉難の志を追慕し、この処刑の地に碑を建立し、毎年命日には御霊を慰めている。

平成三年九月吉日



子吉川レガッタ2022(第43回市民ボート大会)

～9月11日～



「キャッチ、ソレー、キャッチ…」



『子吉川レガッタ2022』が子吉川ボート場で行われました。

好天の下、31クルーが出場しタイムを競いました。仲間の声援を受けゴールを目指した選手たち。「疲れたー！」と汗を流しながらも、3年ぶりの開催にみんな楽しそうな笑顔でした。



震災復興 進もう！次の東北へ

◆インターネットで「雨量データ」「水位データ」等を提供しています

《アクセスはこちら》

◇パソコンから→<http://www.river.go.jp/>

◇スマホなど→『川の防災情報』で検索

◎ご意見・問い合わせ先 子吉川出張所 『せせらぎ通信』担当

由利本荘市石脇字田尻29 電話 0184-22-6360

ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/akita/>

【秋田道川情報STATION⇒(上部タグ)事務所⇒出張所ホームページ⇒子吉川出張所】

または「子吉川出張所」で検索⇒ようこそ！子吉川出張所ホームページへ！をクリック